



東青地域県民局地域農林水産部
■ 農業普及振興室 ■

〒030-0801 青森市新町二丁目4番30号
TEL 017-734-9966 FAX 017-734-8305
E-mail hi-nosui@pref. aomori. lg. jp

日本一!!「あおもりカシス」ブランドのパワーアップに向けて

青森市のカシス生産は30年以上の歴史があり、平成21年の栽培面積は6ha、生産量は5.5tで日本一となっています。



カシスの栽培園地

カシスはスグリ属の果物で、抗酸化作用が強いポリフェノールがブルーベリー以上に豊富で、なかでもアントシアニンが非常に多く含まれています。国内需要の現状は多くをニュージーランドなどからの輸入に頼っていますが、国産果実に対する需要も多く、加工業界が主導で多数の加工品が商品化（ジャム、お茶、ビールなど）されており、青森市も積極的にPRしています。

市内の加工業者からは、生産量の3倍に当たる15t程度の需要があり期待度は高いものの、収穫期間が短く手作業のため時間当たりの収穫可能量も少ないこと等もあって収益性が低いのが現状です。

そこで、持続可能なカシス産地体制の確立に向けて、①効率的な栽培管理技術の実証、②作付実態と改善点の把握、③生産出荷体制の整備、④カシス栽培指導者の育成、⑤新規作付者の掘り起こし、⑥新商品開発による付加価値の創造をテーマに、「あおもりカシスブランドパワーアップ事業」を立ち上げました。

今後は、出荷量の増大と収益性の向上により農家所得を確保するとともに、新幹線開業というチャンスを活かし、「あおもりカシス」ブランドを全国に向けて発信していきます。

農業普及振興室の重点事業はこのほか、①上小国ファームを核とした集落営農組織の企業化推進、②東青の里と海のツーリズム推進事業、③農商工連携による「あおもり海道そば」のブランド化、④農商工の協働による農村起業の活性化等で、これらの事業にも積極的に取り組んで参ります。



カシスを使った商品



農業普及振興室の職員を紹介します！



平成22年4月1日から、「普及指導室」と「農業振興課」が統合し、「農業普及振興室」としてスタートしました。

業務体制は、これまでの「地域担当制」から「業務担当制」になり、生産技術指導はもとより、各種補助事業など施策の情報提供と活用を効果的に進めて参ります。



農業普及振興室長
渋谷 信一

< 企画班 >



副参事（副室長）
工藤 茂
(班の総括・災害窓口)



主査
旗谷 陽悦
(戸別所得補償対策)



主査
扇田 琢哉
(バイオマス利活用)



主査
小笠原 博美
(産休)



主査
阿部 佳枝
(農地の流動化)



技師
福士 協二
(エコファーマー)



技師
玉田 裕康
(果樹関連事業)



非常勤事務員
木村 奈々子
(知事賞の交付)

< 経営・担い手班 >



総括主幹（副室長）
山内 一肇
(班の総括・経営)



主幹
新山 節子
(女性リーダー育成)



主幹
神 俊成
(経営改善・法人化支援)



主幹
横山 順一
(4Hクラブ)



主査
天内 延子
(グリーン・ツーリズム)



技師
葛西 正人
(経営・担い手関連事業)



臨時事務手
大水 麻子
(普及現地事例情報)

< 稲作・畑作・畜産班 >



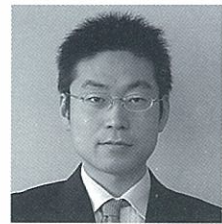
総括主幹（副室長）
立田 久善
（班の総括・水稲）



主 幹
小林 一三
（畜産・農業機械）



主 幹
佐藤 隆志
（畑作・資金）



技 師
松浦 孝幸
（水稲・農業適正使用）



技 師
森川 義雄
（土づくり・野菜関連事業）

■ 春の農作業安全運動 ■

事故の多くは、トラクターでの転落・転倒です。作業時は、周囲に気をくばり、道路・ほ場の端に寄りすぎず、ほ場の出入りや畦畔越えは慎重に行いましょう。



< 野菜・果樹・花き班 >



主幹（副室長）
館山 峰春
（班の総括・野菜）



主 幹
前田 亨
（果樹・関連事業）



主 査
若宮 通子
（野菜・冬の農業）



主 査
中村 諭
（花き・関連事業）



技 師
鈴木 千春
（育児休業）

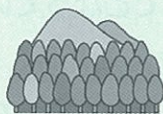


技 師
稗 貫 雪音
（育児休業）



< 山火事防止 >

山火事の発生原因の約67%はタバコの投げ捨て、たき火、火入れなどの不始末です。一人一人が注意し、恐ろしい山火事を防ぎましょう。



< 山菜取り等遭難事故防止 >

家族等に行動予定を連絡し、単独の入山はやめましょう。万が一に備えた装備をし、目先の収穫より安全を優先しましょう。



地域農業を担う新しいリーダー 新ViC・ウーマン、新青年農業士を紹介します!

去る2月、東青管内から新たに5名がViC・ウーマンに、1名が青年農業士に認定されました。今後一層の活躍が期待されています。

■ ViC・ウーマン（5名）・青年農業士（1名）



古村 ふじ子（青森市）

「なみおかアップル友の会」に所属し、りんごや野菜、漬け物など販売しながら所得アップを図っています。



蝦名 日出子（青森市）

「JA青森あすなる直売センター」に所属し、農産物の販売活動を盛り上げながら、農家の所得アップを図っています。



小田島 友子（青森市）

環境に優しい農業を目指し、消費者や飲食店などの異業種を巻き込むなど活動の輪を広げています。



坂本 礼子（蓬田村）

「蓬田トマト加工グループ」に所属し、結成当初から会計を担当しており、優れた経営管理能力を発揮しています。



坂本 直美（蓬田村）

「蓬田トマト加工グループ」に所属し、加工品開発のアイデアマンとして商品づくりをリードしています。

〈青年農業士〉



安田 昌樹（青森市）

- ・現在は実家の果樹経営全般を任されています。
- ・JA青年部や地域のわい化研究会などに所属しています。

日本の農政の大転換

「戸別所得補償制度モデル対策の加入申請始まる!!」

加入申請の受け付け期間は4月1日から6月末日までとなっています。

申請窓口は、県内の青森農政事務所と弘前、八戸、五所川原、十和田の各出先機関のほか、各地域水田農業推進協議会を通じて申し込みできますのでお忘れなく!!